



新規開設時の様子



参加者全員でグーパー運動をしました

5月28日(土)、荘島校区社会福祉協議会(田中一利会長)中央町ふれあいの会が自治会、長寿会等の協力を得て、「中央町みんなのサロン」を新たに開設しました。

同サロンは、中央町つつじ苑(小規模多機能型居宅介護)の2階を借りて、月2回(第2・第4土曜日)に開催されています。約15人が参加され、脳ト

レや簡単な体操、新・久留米市の歌(ふるさとのささやき)を歌うなど、楽しいひとときを過ごされています。サロンには、つつじ苑の利用者も参加されるなど、同じ地域で暮らす人たちが一つの場所に集まり、無理なく運動し、おしゃべりをする交流の場となっています。

市社会福祉協議会では、高齢者の閉じこもり防止や仲間作り、健康維持・増進を目的に、ふれあい・いきいきサロンの活動の支援を行っています。

荘島校区 「中央町みんなのサロン」

ふれあい・いきいきサロン活動とは、身近な地域(小地域)を単位として、高齢者や障害者、児童など地域住民とボランティアが一緒に企画し、運営する「仲間づくり」「健康の維持・増進」「生きがいづくり」を進めるための活動です。市内には、サロンと呼ばれる「集いの場」が200か所以上あります。

身近なところでもいいことたくさん
校区社会福祉協議会の福祉活動
—ふれあい・いきいきサロン—

地域包括ケアシステムの 構築にむけて

「生活支援体制整備事業」に取り組めます。

まずは「支え合い推進会議」での協議を。

市社会福祉協議会は、平成27年度の介護保険制度改正により始まった地域包括ケアシステムの構築の一環として、「生活支援体制整備事業」を平成28年4月に久留米市より受託しました。

高齢者が要介護状態になっても住みなれた地域で生活を続けていくには、介護保険サービス等に加え、地域の助け合いやボランティアによる支援など多様な主体と一緒に地域全体で支えていくことが重要です。

そのために、各小学校区単位での「支え合い推進会議」で地域の課題やその解決策を話し合い、具体的な活動につなげていくことを推進していきます。

今年度から5か年をかけて、全校区で「支え合い推進会議」に順次取組んでいただきたいと思います。

この事業をすすめるために専任の職員・生活支援コーディネーター(2人)を配置し、地域の課題解決に向けた地域の皆さまと一緒に支え合いについて考えていきます。

どうぞ校区の皆さんのご協力をお願いいたします。

